

みよちゃん

社協だより

101

令和6年7月10日発行
御代田町社会福祉協議会

「みよちゃん」は皆様の社協会費、共同募金で発行されています



御代田町社会福祉協議会ボランティアバスパックに

参加させていただき感じたこと 高見澤雄太

三月に二泊三日にて、能登半島のボランティアに参加させていただきました。能登町に着くと、廃校になった小学校にて、宿泊させていただきながら二泊三日でボランティアをさせていただきました。能登町においては、その当時、まだまだ断水状態、家の片付けも進んでいない状態でした。

町についた際には、隆起した道路や、一階部分がつぶれた家、土砂崩れで通行止めになったトンネルなどが目に入り、地震のすさまじさが、改めて実感されました。

一月一日の家族団らんの時間だったかもしれない、大切な人と過ごす時間だったかもしれない。そんなときに突然の地震で今まで当たり前だった日常が一気に変わる。もし自分がこの場所にいたら・・・いろんな人のいろんな場面が想像されました。

私が、お手伝いさせていただいたのは、能登町のお寺さん、酒屋さん、そして一般の住宅、三件の片付けを手伝わせていただきました。

実際にボランティアをさせていただき、感じたことは大きく二つでした。

① 当たり前前の毎日への感謝 ② 支援の形とは？

① ボランティアの際には、地震によって散らばったがれきや、壊れたものががれきとなりました。

それぞれのご家族の思いの詰まった物をがれき処理場に持っていく際には、自分の周りにあるものや人が当たり前でないんだということが感じられました。そして感謝の思いが出てきて、自宅に帰った際に、父母に改めて感謝の思いを伝えました。

② また、支援の形は、それぞれであるが、その支援に関して「求めた形での支援をしっかりとすること」が大切だと感じました。現場に行くと、メディアの情報ではわからない悩みや課題がある。それぞれに細かく対応するにはやはり、現場にいて、身近にサポートしてくれる支援は改めて大切だと感じました。被災地とひとまとめにするのではなく、一人ひとり、一件一件のニーズに合わせて支援してらっしゃるボランティアの皆さんの必要性を改めて実感しました。

以上二泊三日の貴重な経験をさせていただきました。能登半島の日も早い復興を願って、結びとかえさせていただきます。

令和六年能登半島地震

被災地支援

御代田町社会福祉協議会は、令和六年能登半島地震に對して、二度に分けボランティアバスパックを行い、石川県能登町へ災害ボランティア活動を実施しました。また、職員派遣として、災害ボランティアセンター運営支援、避難所運営派遣への協力への実施を行ってきました。広報みよちゃんのページ〜三ページに災害ボランティア活動の参加者等の活動にあたり、感じたことを記載しました。

◎能登町について

人口：15,000 人

世帯数：6,220

高齢化率 50.4%

面積：273.27 km²

平成合併で内浦町、能都町、柳田村が能登町となる。

公民館区：15 区：193

民生委員数：81 人



能登半島支援 災害ボランティアに参加して

藤井邦夫

能登半島での地震災害は発生して既に五か月以上が経過しましたが、テレビではまだまだボランティア活動の必要性が報道されています。そのような状態の中で、御代田町社協のボランティア活動の募集に参加して、五月十九日から三日間にわたり、社協のバンパック活動の一環として活動してきました。

高岡市までは高速道路を使用して順調でしたが能登半島に入った途端、道路の半分は土砂が崩れガードレールが宙ぶらりになった縦貫道路を通り、いたるところで道路が裂け応急処理だけの盛り上がった道をとおり、現地にたどり着くまでに半日以上掛かる状態です。

活動は ボランティアセンターが管理し、被災家族の依頼に基づく、軽トラ等が必要な大型の被災家具の搬出・運搬等がメインになっているようです。まだ、倒壊した状態での家屋もそのまま残っているのが実情で、外観ではわからないのですが、浸水・漏水等で使用できなくなった家具・電気製品・日用品の搬出・運搬にまだまだ被災時のまま、手つかずのところも多いようです。

思い出の残る家具・日用品の処分は、被災した人々にはつらいものと思いますが、それでも、ボランティア活動にきた皆さんに、ありがとうございます。と、対応してくださるのには なにか心にしみるものがあります。現地では、今回派遣されたメンバーを中心にチームを作り、軽トラの運転者・家財の運搬・積み込みの担当を分担し、さすがに同じ地域からの派遣チーム（メンバー）ですので、トラブルもなく、気心も合って順調に作業を進めることができました。

東日本の時のような大規模な被災は目にしませんが、山間部の家々、海辺に近い街並みの建物をみていると、能登半島での復旧・復興の難しさもいくらか実感しております。現地に派遣されボランティア活動の支援を行っていたいてる各地の社協の皆様感謝しております。



御代田町社協職員 避難所運営派遣について

小林郁恵

三月二十六日から四日間、石川県の奥能登、能登町小木に設置された福祉避難所にDWAT（災害派遣福祉チーム）として参加させていただきました。

一月十四日から開設されてきた小木福祉避難所では、三月二十七日に最後の避難者が退所する日だったため、今回の私たちの主な活動は避難所の後片付け等の締めくくりの作業でした。直接の支援ではなかったものの、隣接する小木デイサービスの職員をはじめとする地元の方々や長野からの派遣チームが、ともに協働しながら避難所生活を支援してきた様子がうかがえました。入れ代わり立ち代わり他県から派遣される支援チームだけでなく、地元の顔なじみがいる環境は避難者の方々にとってはとても安心できるものだったと思います。しかし地元で高齢者の生活を支援している彼ら自身も被災者。被災した自宅を修理しながら日々仕事に通っているとのことでした。

奥能登の高齢化率は五十パーセントと全国平均よりも二十パーセントと高く、過疎化は地震の前から深刻な課題だったと聞きます。今回の震災で市町外に避難された方々が多くいらっしゃることもからも、今後の特に若い世代の市町外、または県外へ移住する方々が増え、今まで以上の過疎化と復興停滞の大きな要因になることは容易に想像がつきます。

『一番怖いことは、自分たちが忘れられてしまうこと』
と、あるご高齢の被災された方の言葉が印象的でした。

被災した地域の復興のために私たちができることは、実際に現地に入り支援することももちろんですが、現地に入ることができなくても被災地で生産されたものを購入したり、旅行に出かけることも支援につながります。私自身今回の活動はとても短いものでしたが、これからも被災地の方々に思いを寄せ、一つでもその思いを自分のできる行動に移していきたいと思っています。

◎用語説明

◇災害派遣福祉チーム (DWAT)

高齢、障害、子供支援等の福祉専門職が混合チームを編成し災害時の避難所支援のために派遣し合う仕組み。



令和6年能登半島地震義援金

【実績報告】

令和6年1月5日～

令和6年6月1日現在

1, 407, 053円

ご理解とご協力いただきありがとうございます。

日本赤十字社長野県支部を通して、被災地へ送金されています。

令和5年度御代田町社会福祉協議会の主な事業報告及び決算の概要は、次のとおりです。

1 共同募金分配金事業

共同募金分配金額：1,928,159 円

- (1) オレンジカフェ 開催回数：2回
- (2) 一人暮らし高齢者むつみ会 開催回数：11回
- (3) おせち料理配達事業 食数：22 食
- (4) ひとり親家庭向け事業
・「生活応援パック」の配布：144 世帯
- (5) 第 38 回みよた町民ふれあい広場
・5月 12 日（日）龍神の杜公園
- (6) 第 45 回御代田町社会福祉大会 参加者数：121 名
- (7) 社協報「みよちゃん」3回発行（98 号～100 号）
- (8) ボランティア地域活動団体助成 10 団体
福祉関係団体助成 3団体

2 相談支援事業（町委託）

新規相談者：28 名 継続支援者：52 名

- (1) 生活福祉資金（長野県社協委託）2件
- (2) 暮らしの資金 6件
- (3) フードバンクみよた事業
・寄付数：24,321 個、14,407 kg
・寄付者：313 名
・配布先：延べ 1,453 名
- (4) 家庭訪問等による学習・生活支援（長野県委託）
登録者数：4名 実施回数：59 回
- (5) 心配ごと相談 開設日数：36 回 相談件数：6件

3 御代田町ボランティア地域活動センター（町委託）

登録数：個人 26 名 団体：18 団体（308 名）

- (1) 住民参加型有償在宅サービス「ええっこ」及び
買物代行サービス「えんじよるの」の運営
- (2) ボランティア団体及び福祉関係団体事務
・御代田町ボランティア結愛の会
・安心コール たっしゃ会
・御代田町傾聴の会
・ベルハート
・御代田町ボランティア地域活動連絡協議会
・御代田町シニアクラブ連合会
・御代田町身体障害者福祉協会
・御代田町遺族会
- (3) 常設型災害ボランティアセンターの運営
・能登町災害ボランティアセンターの運営応援派遣
・石川県 1.5 次避難所の介護応援派遣
・能登町災害ボランティア活動バスパック 11 名参加
- (4) 災害時への備え
・資機材の備蓄、研修会の実施等
- (5) 地区社会福祉協議会活動の支援
・社協会費から地区社協への助成総額：3,564,720 円
・日赤活動資金交付金の配分総額：366,700 円
- (6) ファミリーサポートセンター（町委託）
・支援延べ回数：555 回

4 つながりサポート事業（地域女性活躍推進交付金事業）

- (1) 訪問対応：240 件
- (2) サポートルーム来訪：334 件
- (3) 広報活動「御代田町女性活躍サイト」更新
- (4) 生理用品の無償配布

5 研修、視察、実習等の受け入れ及び参加：10 回 各地区サロンへの職員派遣：21 回

6 介護保険事業

- (1) 訪問介護事業（ハートピアみよた）
延べ訪問回数：6,811 回
- (2) 通所介護事業（ハートピアみよた）
延べ利用者数：9,918 名
- (3) サテライト事業所宅老所たっちゃん家
延べ利用者数：311 名
令和5年6月 30 日をもって廃止
- (4) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
延べ作成者数：1,512 名
- (5) 宅老所きくちゃん家（地域密着型・認知症対応型）
令和4年4月から休止中
- (6) グループホームみよた（認知症対応型共同生活介護）
延べ利用者数：3,090 名
- (7) サテライト事業所グループホームきくちゃん家
延べ利用者数：3,236 名

7 障害者総合支援法に基づく事業（ハートピアみよた）

- (1) 居宅介護（自立支援給付、地域支援事業）
延べ訪問回数：2,656 回
- (2) 基準該当生活介護（デイサービス事業）
延べ利用者数：125 名

8 やまゆり共同作業所

- (1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センター（町委託）
延べ利用者数：847 名
- (2) 特定相談支援事業・障がい児相談支援事業
延べ利用者数：199 名
- (3) 障害者総合支援法に基づく生活介護事業
延べ利用者数：1,207 名
- (4) 障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業
延べ利用者数：3,655 名
- (5) 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業
延べ利用者数：1,182 名

9 介護予防・地域支援事業（町委託）

- ・子育て応援ヘルパー派遣事業 延べ回数：29 回

10 福祉有償運送事業

- ・延べ利用者数：56 名
- ・延べ輸送回数：303 回

11 独自事業

- (1) 家族サポート事業
延べ利用回数：615 回
- (2) 預かりサービス事業
延べ利用者数：125 名
- (3) 車椅子・リフト車貸出事業
・車椅子延べ回数：28 回
・リフト車延べ回数：29 回

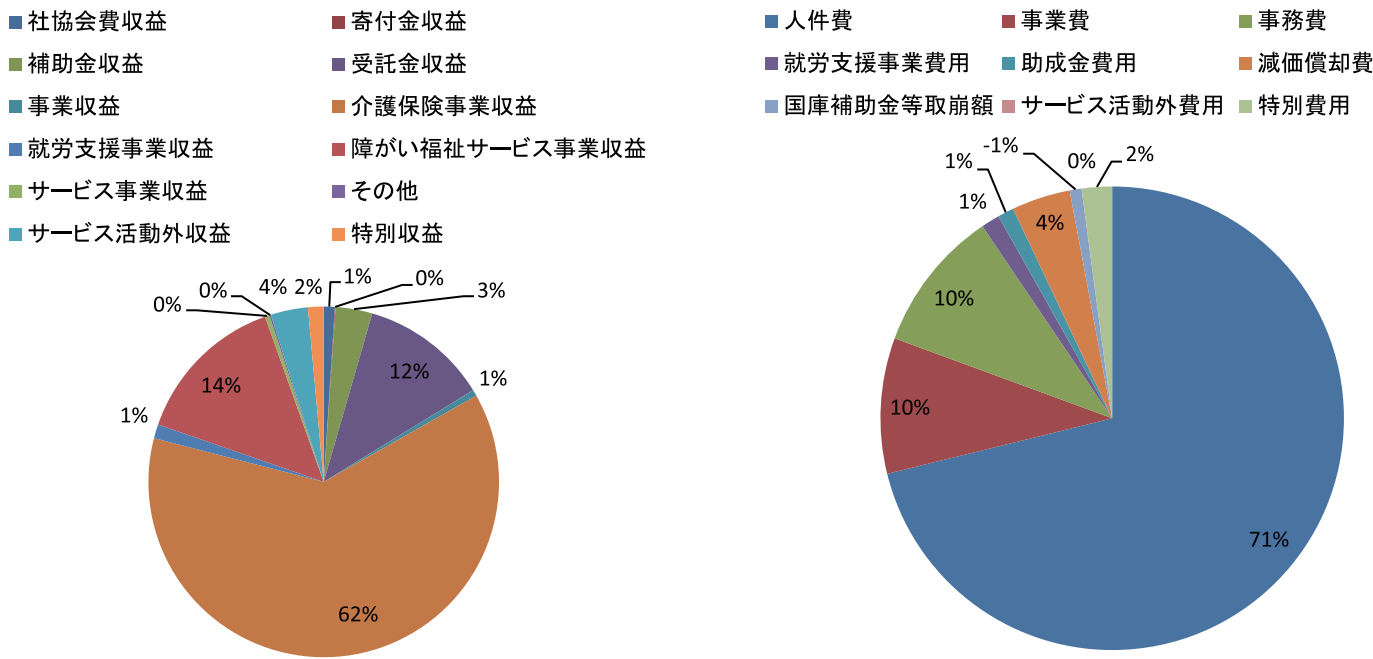
12 御代田町地域福祉センターの運営（町指定管理）

- ・一般浴場の運営
開館日数：303 日
延べ入浴者数：8,063 名

令和5年度事業活動収支

収益			費用		
科目	金額(円)	構成比	科目	金額(円)	構成比
社協会費収益	3,837,400	1.02%	人件費	271,125,067	72.34%
寄付金収益	255,944	0.07%	事業費	36,051,365	9.62%
補助金収益	12,790,809	3.39%	事務費	37,875,182	10.11%
受託金収益	44,468,102	11.77%	就労支援事業費用	4,943,219	1.32%
事業収益	2,166,432	0.57%	助成金費用	4,284,720	1.14%
介護保険事業収益	234,937,481	62.20%	減価償却費	15,607,254	4.16%
就労支援事業収益	4,876,184	1.29%	国庫補助金等取崩額	△ 3,154,967	-0.84%
障がい福祉サービス事業収益	53,868,543	14.26%	サービス活動外費用	0	0.00%
サービス事業収益	1,554,006	0.41%	特別費用	8,052,830	2.15%
その他	593,198	0.16%			
サービス活動外収益	12,938,965	3.43%			
特別収益	5,439,752	1.44%			
収益計(A)	377,726,816		費用計(B)	374,784,670	

当期活動増減差額（A-B） 2,942,146 円



活動の様子



小学生わくわくチャレンジ隊



サマーチャレンジボランティア



ボランティアの集い

第39回 ふれあい広場

2024年5月12日 母の日恒例

心身に障がいを持っている方やいない方、子どもからお年寄りの方などの、目くの方々の誰もが住みよい町づくりをしていくために、必要な語らいの場を作り、ふれあいの輪を広げることを目的として、第39回みよた町民ふれあい広場が開催されました。

令和6年1月に起きた能登半島地震支援金募集の呼びかけも実施しました。



令和7年度 社会福祉法人御代田町社会福祉協議会の正規職員を募集します。

職種	採用予定人数	採用年月日	職務内容	受験資格
介護・ 総合職	正規職員 若干名	令和7年4月1日 (採用日から6ヶ月 間は試用期間)	① 法人運営、地域福祉事業の 企画運営、法人内事業所 における。介護保険事業、障 がい福祉事業における高齢 者に対する介護・相談等の 支援事業に従事します。 ② 変形労働時間制(シフト制) を採用していますので、配 置された事業所によって、 業務内容や勤務日が異なり ます。また、夜間勤務を伴 う事業所(グループホーム) があります。	次に掲げる①から③のすべて を満たす方 ① 平成13年4月2日以降 に生まれた方 ② 社会福祉士もしくは介護福 祉士の資格を有する方、又 は介護職員初任者研修を修 了した方(令和7年3月末 迄に取得・修了見込みも可) ③ 普通自動車の運転免許を有 する方(AT限定、採用時 までに取得見込みも可)
受付期間・必要書類			申し込み方法	
令和6年7月1日(月)～8月9日(金)まで ① 職員採用申込書及び履歴書(市販可) ② 写真(6ヶ月以内撮影のものを履歴書に貼付) ③ 資格証明書の写し(取得見込み者には別途お知らせ) ④ 最終学歴の卒業証明書の写し又は卒業見込み証明書 ⑤ 最終学歴の成績証明書 ⑥ 住民票抄本(本籍地は記載不要) ⑦ 作文(400字詰め原稿用紙2～3枚程度) ・テーマ「社協職員となって1年後と5年後の私」 ※採用試験を8月27日(火)に行う予定です。(変更 する場合あり)詳細は応募後にお知らせします。			採用申込書、履歴書及び作文用の原稿用紙は、下記 Webサイトに置いてあります。ご利用ください。 ① 持参による申し込み 受付期間の土日祝日以外の午前9時から午後5時迄に 「ハートピアみよた」に持参してください。 ② 郵送による申し込み 必要書類を、特定記録郵便などの確実な方法で、下記 御代田町社協に郵送してください。 ③ Webによる申し込み 御代田町社会福祉協議会職員募集サイト https://miyota-shakyo.sakura.ne.jp/recruit/	
【お問い合わせ】御代田町社会福祉協議会 担当：荻原(電話 0267-32-1100)				



～地域で子育てする仕組み～
ファミリーサポート協力会員募集中!
ファミリーサポートセンター(御代田町社協内)では、下記の援助内容で、子育てを応援する方を募集しています。ご興味のある方は、お問い合わせください。
【援助内容】
♪保育施設・塾・学校までの送り迎え などなど
【お問い合わせ】
御代田町社会福祉協議会
担当 福祉係

～地域住民がお互いに
支え合う仕組み～
**住民参加型在宅支援サービス
「ええっこ」協力会員募集!**
御代田町社会福祉協議会では、下記の援助内容で協力会員を募集しています。ご興味のある方は、お問い合わせください。
【援助内容】
☆医療受診の送り迎え ☆家事支援 などなど
【お問い合わせ】
御代田町社会福祉協議会
担当 福祉係

眠っているタオル譲ってください!
「やまゆり共同作業所」では、障がいを持つ方々が、手縫い雑巾の作成をしています
もし、ご家庭で使わないタオル(未使用の物、色柄物会社名入りでも結構です)がありましたら、お譲りください。直接お持ちいただくか、ご連絡いただければ取りに伺います。
【お問い合わせ】
やまゆり共同作業所
TEL 0267-32-1118
MAIL でもOKです。➡



とうもろこし

No.85



発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

もぐファームです

酒出佐登美

御代田町のみなさまこんにちは！畑と暮らしを繋ぐ活動をしている「もぐファーム」の酒出です。

きっかけはおみそづくりを一緒に！ということから始まりました。たくさん家族、おじいちゃんおばあちゃん、生まれたばかりの赤ちゃん連れのお母さんたちにおみそを手作りすることで思い出して欲しいことがあります。

「作ること・食べることを家族と一緒に共有する」
「豆が煮える音・匂い・味見したおいしさ・笑い声・潰した豆の触感・みそ玉を仕込む音・みんなの顔……」
そのどれもが一人一人の心の記憶に残る。

そんな暮らしがどこの家族にもあって繋がっていたことを思い出す時間。そしておみそに使う豆を育てようと「もぐファーム」がスタート。現在は畑で育った



大豆と麦で毎年お醤油作りもしています。秋には師匠が搾りの舟を持ってきてくれて醤油搾りのお祭り。楽しいよ！
いつかこの地域にこういう暮らしを通して誰もがいつでも大切にされて自分らしくいられる場所を作るのが夢です。

クイズ答えて消して

--	--	--	--	--

いつでもおいでください

カギ文の答えの文字を、
パネルから探して消しましょう。
消さずに残ったカタカナを、
並び替えて答えてください。

カギ

- 町商工会マスコットキャラクターの名前は
- 氷上でストーンを投げて競う
- 夏の祭りは
- 町内の湖といえば

ア	リ	ユ	カ	ピ	セ
タ	ハ	ー	ウ	ツ	ン
ジ	リ	ヨ	ソ	ン	ー
ト	ン	ウ	コ	グ	ミ

作成：馬瀬口 山口茂雄様

七月二十八日（日）午前七時半、
龍神祭り後のゴミ拾いボランティア募集！
詳細は、社協福祉係
☎〇二六七・三三・一一〇〇まで

やあー！出かけよう むつみ会佐藤規子

春は名のみなのでしょうか。三月二十六日はとても寒い朝となりました。町のバスに乗り込んだのは「むつみ会」の皆さんです。「元気だった？」と声を掛け合い、みんな子供のように嬉しそうに笑顔でした。行き先は「小諸あぐり日帰り温泉」です。久しぶりの外出！バスの中は賑やかな話し声で寒さもぶっ飛んでしまいます。三十分ほどで到着しました。

まず：みんなは買い物でしょうか。足は売店へ向いています。「久しぶり」「元気だった」と売店の方々と声を交わす姿がありました。お目当ては何でしょうか。いちご・野菜・お菓子などなど、もう袋がいっぱいになってしまいました。そしてこれからがお風呂の時間となり、お茶やおしゃべり、昼食と続きます。お腹がいっぱいとなり話は尽きません。

お風呂はポカポカ若返り！こんな時間もあったという間に過ぎてしまいました。お土産を両手に「あぐりの湯」を後にします。今度は「桜の頃かね」みんなの顔がほころびます。

ドライバーさん！ありがとうございました。

「大人の遠足」は本当に楽しいものでした。

「むつみ会」は笑顔とともに続きます。



二月に開催した「ボランティアの集い」での「能登半島地震救済義援金」への募金は、37,964円もの金額が集まりました。本当にありがとうございました。